成果発表

1プロジェクト概要

システムの概要

◆外出または帰宅に応じて自動でエアコンを稼働、停止、操作

◆ユーザはLINEでエアコンやシステムの稼働条件の設定や参照することができる。

製品の機能

- ◆ユーザはエアコンの設定温度、稼働・停止範囲と自宅の位置 を任意に設定できること
- ◆位置情報からユーザと家までの距離を計測し、設定範囲と比較してエアコンを条件に沿った操作ができること
- ◆ユーザが LINE を通じて設定の変更ができること
- ◆ユーザが LINE を通じて設定・エアコンの状態を確認できること

製品の機能



メッセージ

温度を設定 稼働範囲を設定 停止範囲を設定

冷房にする 暖房にする 住所の設定

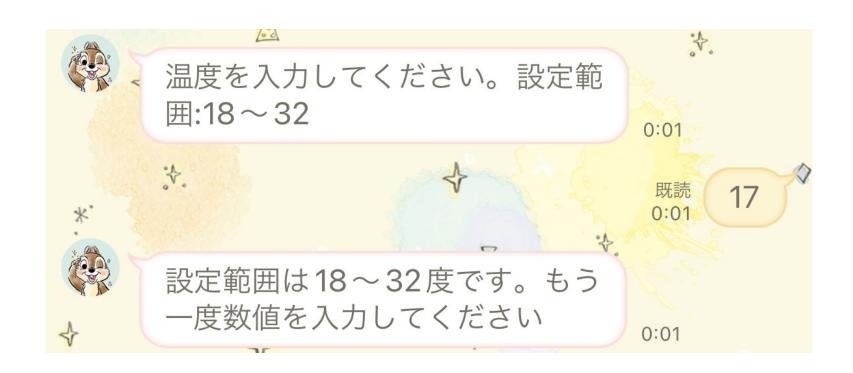
Ⅲ メニュー▼

リッチメニュー

非機能要求

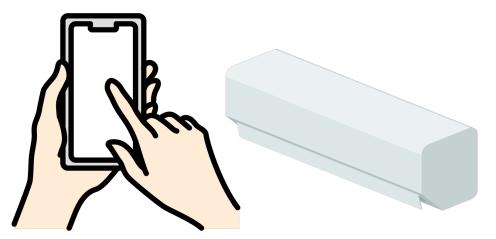
◆ユーザの設定要求が不可能または過剰な時に要求を 否定できること

非機能要求



メッセージ

想定する利用者



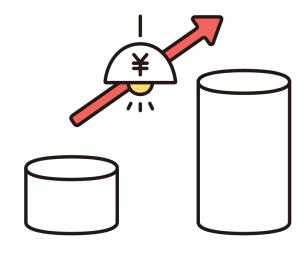
iPhoneを持っていてエアコン所有者



外出時に電源を落とすことを 忘れるもしくは面倒と感じる人



帰宅時に家の室温に 暑いまたは寒いなど不満を持つ人



電気代に困る人

2 開発プロセス

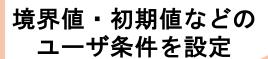
システム処理の流れ





位置情報を送信

エアコンを Remo3を通じて稼働・停止・調整 (設定範囲の条件に当てはまるとき)





5分おきに ユーザの位置情報を取得







- ユーザが設定を変更した場合
- エアコンの温度
- 稼働 停止範囲
- 稼働・停止範囲の条件に当てはまる場合
- ・エアコンの状態

モジュール

◆スプレッドシート用管理プログラム

◆Remo3 からのデータ取得用プログラム

◆エアコン操作用プログラム(ユーザ設定、稼働状況、 室内の温度、設定情報確認に応じて操作)

◆ユーザの現在位置特定用のプログラム



モジュール

◆自宅の位置情報用のプログラム

◆範囲内外の判定するプログラム

◆距離の計算 (ハバーシンの公式) プログラム

その他





ショートカット

開発体制

リーダー兼開発文書責任者:山元雅貴

開発文書責任者: WU Junting

プログラム責任者:阿曽有作

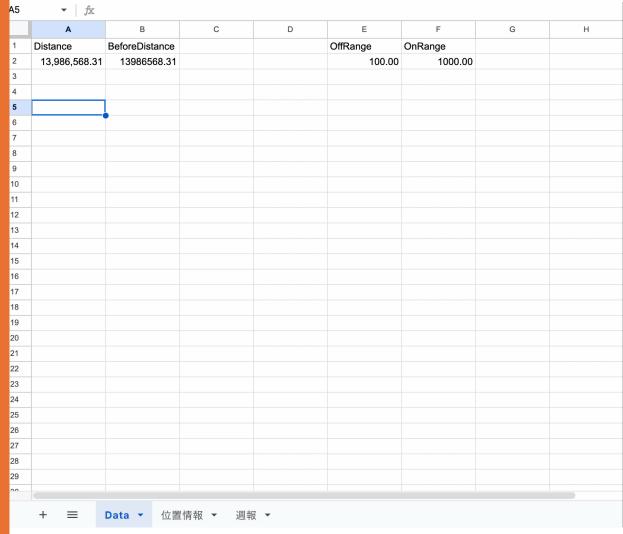
発表資料責任者:千田唯人

開発スケジュール

| | 担当 | 6/19 4限 | 6/26 3限 | 6/26 4限 | 7/3 3限 | 7/3 4限 | 7/10 3限 | 7/10 4限 |
|---|----|---------|---------|---------|--------|--------|---------|---------|
| 要求仕様・設計のみなおし | 全員 | | | | | | | |
| 位置情報(スマホ) | 阿曽 | | | | | | | |
| Remoからの データ取得 | 千田 | | | | | | | |
| スプレッド シートの管理 (計算など) | 山元 | | | | | | | |
| LINE(温度設定、範囲設定、 定、範囲設定、時 通知設定、時間設定) | 阿曽 | | | | | | | |
| システムテスト | WU | | | | | | | |
| 成果発表資料 作成 | 全員 | | | | | | | |

3 結果・振り返り

結果: 複数人仕様







温度を設定 稼働範囲を設定 停止範囲を設定

温度を設定 稼働範囲を設定 停止範囲を設定

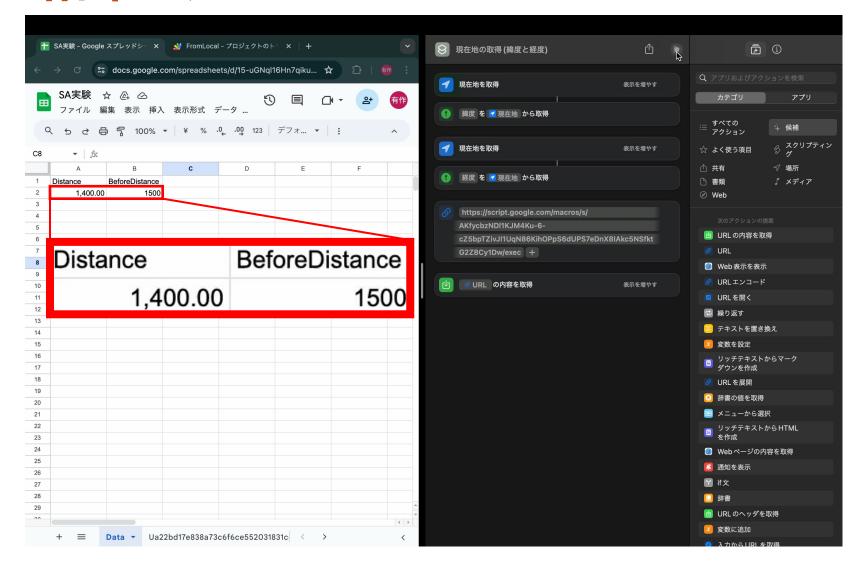
冷房にする 暖房にする 住所の設定

冷房にする 暖房にする 住所の設定

メニュー▼

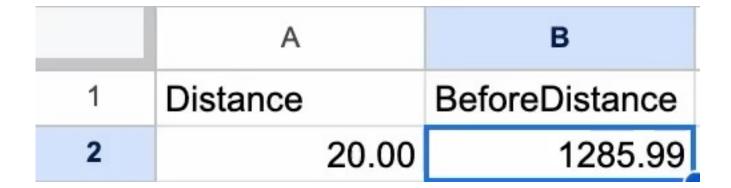
メニュー▼

結果: デモンストレーション





結果: デモンストレーション





できなかったこと

- ◆ 複数人仕様の場合の位置情報取得
- ◆ エアコンを起動するときの温度を室温に応じて変更

できたこと

- ◆ APIを使わずに位置情報の取得、距離の計算
- ◆ 複数人仕様